

2. 教育学部の専門教育科目卒業要件

教育学部の卒業要件単位 134～146単位
 (教養教育科目27単位, 専門教育科目107～119単位)

<はじめに>

教育学部学校教育教員養成課程では、卒業要件として複数の教員免許を取得することが義務づけられています。卒業要件とは、卒業するために必要な条件のことを言います。教育学部では、卒業要件となる教員免許のうち、コースごとに指定される一つめの主たる免許のことを「**主免**」、二つめの免許のことを「**副免**」という名称で位置づけます。(ただし、特別支援教育コースでは特別支援学校教諭一種免許状の基礎として取得する免許のことを「**基礎免**」と呼びます。)また、主免・副免(基礎免)以外の教員免許で、卒業要件とはならない免許のことを「**その他の免許**」として、それぞれを区別しています。複数免許(主免・副免(基礎免))の組み合わせパターンはコースごとに異なりますので注意してください。

以下は、コースごとに、「主免・副免(基礎免)」の組み合わせパターンとその注意事項、そして卒業要件単位の一覧表を提示します。まずはこの項の表でその輪郭をつかんでください。

なお、各コースの区分ごとの具体的な科目一覧と単位数は、次項「3. 授業科目及び履修年次」に掲載されています。

2. 1 卒業要件単位数

2. 1. 1 小学校教育コース

小学校教育コースでは、主免として「小学校一種」免許を取得することはもちろんですが、副免としても一つの免許を取得しなくてはなりません。免許取得の組み合わせパターンはサブコースによって異なります。

教科サブコース(国語・社会・英語・音楽・美術・保健体育)については、卒業要件として「小学校一種+中学校二種(所属サブコース)」免許の取得が義務づけられています。

教科以外のサブコース(教育学・心理学・情報教育学・特別支援教育)については、「小学校一種+中学校二種」又は「小学校一種+特別支援一種」のどちらかのパターンの免許取得が義務づけられています。

(1) 国語・社会・英語・音楽・美術・保健体育の各サブコース

区分	コース	小学校教育コース
		「小学校一種+中学校二種」免許を取得する場合の卒業要件単位数
教職専門科目		42
教科専門科目		32
所属専門科目(中学校教科専門科目)		16(～21)
選択科目		14
卒業研究		6
専門教育科目 計		110(～115)
教養教育科目		27
合計		137(～142)

区分ごとの具体的な科目一覧と単位数は、次項「3. 授業科目及び履修年次」に掲載されています。

注) 区分「所属専門科目16単位」では、それぞれ副免とする中学校免許の教科専門科目を履修してください。ただし、選択した教科によっては、二種免許でも免許取得に必要なとなる教科専門科目の単位数が16単位を超える教科があります。このことから、副免として選択した教科によっては、卒業最低単位数が上表の合計単位数(専門教育科目計110単位)を超える場合があります。その場合には上表の「選択科目14単位」を活用して、免許取得に必要な単位を満たすことができます。なお、副免の取得についての詳細は、「4. 副免及びその他の教員免許の取り方について」以降を必ず参照してください。

(2) 教育学・心理学・情報教育学・特別支援教育の各サブコース

区分	コース	
	小学校教育コース（教育学・心理学・情報教育学・特別支援教育サブコース）	
	「小学校一種＋中学校二種」免許を取得する場合の卒業要件単位数	「小学校一種＋特別支援一種」免許を取得する場合の卒業要件単位数
教職専門科目	42	39
教科専門科目	32	32
所属専門科目	10	6
選択必修科目	(中学校教科専門科目) 12(～21)	(特別支援教育に関する科目) 26
選択科目	8	2
卒業研究	6	6
専門教育科目 計	110(～119)	111
教養教育科目	27	27
合計	137(～146)	138

区分ごとの具体的な科目一覧と単位数は、次項「3. 授業科目及び履修年次」に掲載されています。

注) 区分「選択必修科目12単位」(中学校教科専門科目)では、それぞれ副免とする中学校免許の教科専門科目を履修してください。ただし、選択した教科によっては、二種免許でも免許取得に必要なとなる中学校の教科専門科目の単位数が12単位を超える教科があります。このことから、副免として選択した教科によっては、卒業最低単位数が上表の合計単位数(専門教育科目計110単位)を超える場合があります。その場合には上表の「選択科目8単位」を活用して、免許取得に必要な単位を満たすことができます。なお、副免の取得についての詳細は、「4. 副免及びその他の教員免許の取り方について」以降を必ず参照してください。

2. 1. 2 中学校教育コース

中学校教育コースでは、主免として「中学校一種」免許を取得することはもちろんですが、副免としてもう一つの免許を取得しなくてはなりません。免許取得の組み合わせは、次の二つのパターンがあります。すなわち、①所属するサブコースの教科に対応する「中学校一種」免許と「小学校二種」免許の組み合わせ、あるいは、②所属するサブコースの教科に対応する「中学校一種」免許と他教科の「中学校二種」免許の組み合わせ、のいずれかのパターンでの免許取得が義務づけられています。

区分	コース	
	中学校教育コース	
	「中学校一種＋小学校二種」免許を取得する場合の卒業要件単位数	「中学校一種＋中学校他教科二種」免許を取得する場合の卒業要件単位数
教職専門科目	42	41
教科専門科目	(小学校教科専門科目) 16	(他教科専門科目【副免】) 12(～21)
所属専門科目(各科指定科目)	38	38
選択科目	6	10
卒業研究	6	6
専門教育科目 計	108	107(～116)
教養教育科目	27	27
合計	135	134(～143)

区分ごとの具体的な科目一覧と単位数は、次項「3. 授業科目及び履修年次」に掲載されています。

注) 「中学校一種＋中学校他教科二種」免許を取得する場合、区分「他教科専門科目【副免】12単位」で、副免とする教科の教科専門科目を履修してください。ただし、選択した教科によっては、二種免許でも免許取得に必要なとなる教科専門科目の単位数が12単位を超える教科があります。このことから、副免として選択した教科によっては、卒業最低単位数が上表の合計単位数(専門教育科目計107単位)を超える場合があります。その場合には上表の「選択科目10単位」を活用して、免許取得に必要な単位を満たすことができます。なお、副免の取得についての詳細は、「4. 副免及びその他の教員免許の取り方について」以降を必ず参照してください。

2. 1. 3 理数教育コース

理数教育コースでは、専修ごとに複数免許の取得パターンが異なります。小学校教育専修では、主免として「小学校一種」免許を取得することはもちろんですが、副免として、所属するサブコースの教科に対応する「中学校一種」免許を取得しなくてはなりません。中学校教育専修では、主免として、所属するサブコースの教科に対応する「中学校一種」免許を、副免として「小学校二種」免許を取得することが卒業要件として義務づけられています。

区分	専修	小学校教育専修	中学校教育専修
		「小学校一種+中学校一種」免許を取得する場合の卒業要件単位数	「中学校一種+小学校二種」免許を取得する場合の卒業要件単位数
教職専門科目		44	44
教科専門科目		(小学校教科専門科目) 30	(小学校教科専門科目) 16
所属専門科目		28	36
選択科目		2	8
卒業研究		6	6
専門教育科目 計		110	110
教養教育科目		27	27
合計		137	137

区分ごとの具体的な科目一覧と単位数は、次項「3. 授業科目及び履修年次」に掲載されています。

2. 1. 4 特別支援教育コース

特別支援教育コースでは、主免として「特別支援学校一種」免許の取得が義務づけられています。また、基礎免として「小学校一種免許」あるいは「中学校一種免許」のいずれかを取得することが卒業要件として義務づけられています。

区分	基礎免	小学校免許を取得する場合の卒業要件単位数	中学校免許を取得する場合の卒業要件単位数
	教職専門科目		39
教科専門科目		32	(各科指定教科専門科目) 32
所属専門科目 (特別支援教育に関する科目)		26	26
選択科目		5	5
卒業研究		6	6
専門教育科目 計		108	108
教養教育科目		27	27
合計		135	135

区分ごとの具体的な科目一覧と単位数は、次項「3. 授業科目及び履修年次」に掲載されています。

2. 2 卒業要件科目（教育学部専門教育科目）

卒業要件となる専門科目の一覧表をコースごとに示します。それぞれのコースの表に記載されている科目の単位をすべて修得し、かつコースごとに定められた複数の教員免許状を取得し資格を得た場合に卒業要件を満たすこととなります。なお、副免として中学校教員免許を取得する場合には、教科によって免許取得に必要な単位数が異なります。以下の表に記された合計単位数を超える場合がありますので注意してください。

2. 2. 1 小学校教育コース

(1) 国語・社会・英語・音楽・美術・保健体育の各サブコース

コース 区分	小学校教育コース		別欄①科目	
	「小学校一種+中学校二種」免許を取得する場合の卒業要件単位数			
	科目名	単位数		
教職専門科目	教職入門	2	教育の思想 教育の歴史 教育学特殊講義A	2
	教育概論	2		2
	学校安全学と防災教育	2		2
	教育・学校心理学	2	別欄②科目	
	発達心理学	2	教育法規 学校経営・制度論	2
	特別支援教育	2		2
	右記別欄①から1科目選択必修	2		
	右記別欄②から1科目選択必修	2		
	道德教育の理論と実践	2		
	総合的な学習の時間の理論と実践	2		
	特別活動の理論と方法	2		
	教育課程・教育方法論	2		
	プログラミング基礎 (ICT活用を含む)	2		
	生徒指導・進路指導	2		
	教育相談	2		
	観察実習 (小)	1		
	学校体験実習 (小)	1		
	教育実習研究 (小)	1		
	教育実習研究 (中・高)	1		
	小学校教育実習	4		
	中学校教育実習	2		
教職実践演習	2			
小 計		42単位		
教科専門科目	小学校算数	2	選択科目※について 他学部の科目、国際教育科目、いわて高等教育コンソーシアム単位互換科目及び海外協定大学の科目のうち、本学部の科目として認定できなかった科目を、選択科目として10単位まで卒業要件として認定することができます。	
	小学校理科	2		
	小学校体育A	1		
	小学校英語	2		
	小学校音楽A	1		
	小学校国語	2		
	小学校社会	2		
	小学校図画工作	2		
	小学校家庭科	2		
	小学校生活科	2		
教科の指導法 (小学校10教科)	20			
小 計		32単位		
所属専門科目	配属サブコースの科目 (中学校教科専門科目) から	14 (~19)		
	教科の指導法 (中学校)	2		
小 計		16 (~21) 単位		
選択科目※	教育学部の専門教育科目から選択	14単位		
卒業研究	卒業研究	6単位		
合計	110 (~115) 単位			

注) 区分「所属専門科目16単位」では、それぞれ副免とする中学校免許の教科専門科目を履修してください。ただし、選択した教科によっては、二種免許でも免許取得に必要な単位数が16単位を超える教科があります(保健体育21単位)。このことから、副免として選択した教科によっては、卒業最低単位数が上表の合計単位数(専門教育科目計110単位)を超える場合があります。その場合には上表の「選択科目14単位」を活用して、免許取得に必要な単位を満たすことができます。なお、副免の取得についての詳細は「4. 副免及びその他の教員免許の取り方について」以降を必ず参照してください。

(2)教育学・心理学・情報教育学・特別支援教育の各サブコース<「小学校一種+中学校二種」免許を取得する場合>

コース 区分	小学校教育コース		別欄①科目		
	「小学校一種+中学校二種」免許を取得する場合の卒業要件単位数		教育の思想 教育の歴史 教育学特殊講義A	2 2 2	
	科目名	単位数			別欄②科目
教職専門科目	教職入門	2	別欄②科目	教育法規 学校経営・制度論	2 2
	教育概論	2			
	学校安全学と防災教育	2			
	教育・学校心理学	2			
	発達心理学	2			
	特別支援教育	2			
	右記別欄①から1科目選択必修	2			
	右記別欄②から1科目選択必修	2			
	道徳教育の理論と実践	2			
	総合的な学習の時間の理論と実践	2			
	特別活動の理論と方法	2			
	教育課程・教育方法論	2			
	プログラミング基礎(ICT活用を含む)	2			
	生徒指導・進路指導	2			
	教育相談	2			
	観察実習(小)	1			
	学校体験実習(小)	1			
	教育実習研究(小)	1			
	教育実習研究(中・高)	1			
	小学校教育実習	4			
中学校教育実習	2				
教職実践演習	2				
小計		42単位			
教科専門科目	小学校算数	2	選択科目※について 他学部の科目、国際教育科目、いわて高等教育コンソーシアム単位互換科目及び海外協定大学の科目のうち、本学部の科目として認定できなかった科目を、選択科目として上限単位数まで卒業要件として認定することができます。		
	小学校理科	2			
	小学校体育A	1			
	小学校英語	2			
	小学校音楽A	1			
	小学校国語	2			
	小学校社会	2			
	小学校図画工作	2			
	小学校家庭科	2			
	小学校生活科	2			
教科の指導法(小学校10教科)		20			
小計		32単位			
所属専門科目	配属サブコースの科目から	10単位			
選択必修科目	中学校教科専門科目から	10(～19)			
	教科の指導法(中学校)	2			
小計		12(～21)単位			
選択科目※	教育学部の専門教育科目から選択	8単位			
卒業研究	卒業研究	6単位			
合計	110(～119)単位				

注) 区分「選択必修科目12単位」では、それぞれ副免とする中学校免許の教科専門科目を履修してください。
 「4.2.2(2)教科毎の科目・中・高」以降を参照。ただし、選択した教科によっては、二種免許でも免許取得に必要な教科専門科目の単位数が12単位を超える教科があります(技術15単位、理科14単位、音楽15単位、社会16単位、保健体育21単位)。このことから、副免として選択した教科によっては、卒業最低単位数が上表の合計単位数(専門教育科目計110単位)を超える場合があります。その場合には上表の「選択科目8単位」を活用して、免許取得に必要な単位を満たすことができます。なお、副免の取得についての詳細は、「4. 副免及びその他の教員免許の取り方について」以降を必ず参照してください。

(3)教育学・心理学・情報教育学・特別支援教育の各サブコース<「小学校一種＋特別支援一種」免許を取得する場合>

コース 区分	小学校教育コース		別欄①科目		
	「小学校一種＋特別支援一種」免許を取得する場合の卒業要件単位数		教育の思想 教育の歴史 教育学特殊講義A	2 2 2	
	科目名	単位数			別欄②科目
教職専門科目	教職入門	2	別欄②科目	教育法規 学校経営・制度論	2 2
	教育概論	2			
	学校安全学と防災教育	2			
	教育・学校心理学	2			
	発達心理学	2			
	特別支援教育	2			
	右記別欄①から1科目選択必修	2			
	右記別欄②から1科目選択必修	2			
	道徳教育の理論と実践	2			
	総合的な学習の時間の理論と実践	2			
	特別活動の理論と方法	2	選択科目※について 他学部の科目、国際教育科目、いわて高等教育コンソーシアム単位互換科目及び海外協定大学の科目のうち、本学部の科目として認定できなかった科目を、選択科目として上限単位数まで卒業要件として認定することができます。		
	教育課程・教育方法論	2			
	プログラミング基礎(ICT活用を含む)	2			
	生徒指導・進路指導	2			
	教育相談	2			
	観察実習(小)	1			
	学校体験実習(小)	1			
	教育実習研究(小)	1			
	小学校教育実習	4			
	教職実践演習	2			
小計		39単位			
教科専門科目	小学校算数	2	選択科目※について 他学部の科目、国際教育科目、いわて高等教育コンソーシアム単位互換科目及び海外協定大学の科目のうち、本学部の科目として認定できなかった科目を、選択科目として上限単位数まで卒業要件として認定することができます。		
	小学校理科	2			
	小学校体育A	1			
	小学校英語	2			
	小学校音楽A	1			
	小学校国語	2			
	小学校社会	2			
	小学校図画工作	2			
	小学校家庭科	2			
	小学校生活科	2			
教科の指導法(小学校10教科)		20			
小計		32単位			
所属専門科目	配属サブコースの科目から	6単位			
選択必修科目	特別支援教育に関する科目	26単位			
選択科目※	教育学部の専門教育科目から選択	2単位			
卒業研究	卒業研究	6単位			
合計	111単位				

副免の取得についての詳細は「4. 副免及びその他の教員免許の取り方について」以降を必ず参照してください。

2. 2. 2 中学校教育コース

(1)「中学校一種+小学校二種」免許を取得する場合

コース 区分	中学校教育コース		別欄①科目	
	「中学校一種+小学校二種」免許を取得する場合の卒業要件単位数		教育の思想 教育の歴史 教育学特殊講義A	2 2 2
	科目名	単位数		
教職専門科目	教職入門	2	/	
	教育概論	2		
	学校安全学と防災教育	2		
	教育・学校心理学	2		
	発達心理学	2		
	特別支援教育	2		
	右記別欄①から1科目選択必修	2		
	右記別欄②から1科目選択必修	2		
	道德教育の理論と実践	2		
	総合的な学習の時間の理論と実践	2		
	特別活動の理論と方法	2		
	教育課程・教育方法論	2		
	プログラミング基礎(ICT活用を含む)	2		
	生徒指導・進路指導	2		
	教育相談	2		
	観察実習(中・高)	1		
	学校体験実習(中・高)	1		
	教育実習研究(中・高)	1		
	教育実習研究(小)	1		
	中学校教育実習	4		
小学校教育実習	2			
教職実践演習	2			
	小計	42単位		
教科専門科目	小学校算数	2	} 4	
	小学校理科	2		
	小学校音楽A	1		
	小学校体育A	1		
	小学校英語	2		
	小学校国語	2		
	小学校社会	2		
	小学校図画工作	2		
	小学校家庭科	2		
	小学校生活科	2		
	教科の指導法(小学校)	12		
	小計	16単位		
所属専門科目	各科で指定する中学校教科専門科目	30		
	教科の指導法(中学校)	8		
	小計	38単位		
選択科目※	教育学部の専門教育科目から選択	6単位		
卒業研究	卒業研究	6単位		
合計		108単位		

副免の取得についての詳細は「4. 副免及びその他の教員免許の取り方について」以降を必ず参照してください。

(2)「中学校一種＋中学校他教科二種」免許を取得する場合

区分	中 学 校 教 育 コ ー ス		別欄①科目			
	「中学校一種+中学校他教科二種」免許を取得する場合の卒業要件単位数					
	科 目 名	単 位 数				
教職専門科目	教職入門	2	教育の思想	2		
	教育概論	2	教育の歴史	2		
	学校安全学と防災教育	2	教育学特殊講義A	2		
	教育・学校心理学	2	別欄②科目			
	発達心理学	2	教育法規	2		
	特別支援教育	2			学校経営・制度論	2
	右記別欄①から1科目選択必修	2	/			
	右記別欄②から1科目選択必修	2				
	道德教育の理論と実践	2				
	総合的な学習の時間の理論と実践	2				
	特別活動の理論と方法	2				
	教育課程・教育方法論	2				
	プログラミング基礎(ICT活用を含む)	2				
	生徒指導・進路指導	2				
	教育相談	2				
	観察実習(中・高)	1				
	学校体験実習(中・高)	1				
	教育実習研究(中・高)	1				
	中学校教育実習(主免)	4				
	中学校教育実習(副免・他教科)	2				
教職実践演習	2					
小 計		41単位	選択科目※について			
教科専門科目【副免】	中学校教科専門科目(副免・他教科)	10(～19)	他学部の科目, 国際教育科目, いわて高等教育コンソーシアム単位互換科目及び海外協定大学の科目のうち, 本学部の科目として認定できなかった科目を, 選択科目として上限単位数まで卒業要件として認定することができます。			
	教科の指導法(中学校(副免・他教科))	2				
小 計		12(～21)単位				
所属専門科目(教科専門科目(主免))	各科で指定する中学校教科専門科目(主免)	30				
	教科の指導法(中学校(主免))	8				
小 計		38単位				
選択科目※	教育学部の専門教育科目から選択	10単位				
卒業研究	卒業研究	6単位				
合 計	107(～116)単位					

注) 区分「教科専門科目【副免】」の12単位は、副免とする他教科の教科専門科目を履修してください。

「4.2.2(2)教科毎の科目・中・高」以降を参照。ただし、選択した教科によっては、二種免許でも免許取得に必要な教科専門科目の単位数が12単位を超える教科があります(理科14単位, 音楽15単位, 社会16単位, 技術15単位, 保健体育21単位)。このことから、副免として選択した教科によっては、卒業最低単位数が上表の合計単位数(専門教育科目計107単位)を超える場合があります。その場合には上表の「選択科目※10単位」を活用して、免許取得に必要な単位を満たすことができます。なお、副免の取得についての詳細は「4. 副免及びその他の教員免許の取り方について」以降を必ず参照してください。

2. 2. 3 理数教育コース

(1) 小学校教育専修 <「小学校一種+中学校一種」免許を取得する場合>

コース・サブコース 専修	理数教育コース・理科及び数学サブコース		別欄①科目	
	小学校教育専修		教育の思想 教育の歴史 教育学特殊講義A	2 2 2
	「小学校一種+中学校一種」免許を取得する場合の卒業要件単位数			
区分	科目名	単位数	別欄②科目	
教職専門科目	教職入門	2	別欄②科目 教育法規 学校経営・制度論	2 2
	教育概論	2		
	学校安全学と防災教育	2		
	教育・学校心理学	2		
	発達心理学	2		
	特別支援教育	2		
	右記別欄①から1科目選択必修	2		
	右記別欄②から1科目選択必修	2		
	道德教育の理論と実践	2		
	総合的な学習の時間の理論と実践	2		
	特別活動の理論と方法	2		
	教育課程・教育方法論	2		
	プログラミング基礎 (ICT活用を含む)	2		
	生徒指導・進路指導	2		
	教育相談	2		
	ICTを活用した理数教育	2		
	観察実習(小)	1		
	学校体験実習(小)	1		
	教育実習研究(小)	1		
	教育実習研究(中・高)	1		
	小学校教育実習	4		
	中学校教育実習	2		
	教職実践演習	2		
小計		44単位		
教科専門科目	小学校音楽A	1	選択科目※について 他学部の科目, 国際教育科目, いわて高等教育コンソーシアム単位互換科目及び海外協定大学の科目のうち, 本学部の科目として認定できなかった科目を, 選択科目として上限単位数まで卒業要件として認定することができます。	10
	小学校体育A	1		
	小学校英語	2		
	小学校国語	2		
	小学校社会	2		
	小学校図画工作	2		
	小学校家庭科	2		
	小学校生活科	2		
	教科の指導法(小学校10教科)	20		
	小計			
所属専門科目	各科で指定する中学校教科専門科目	20		
	教科の指導法(中学校)	8		
小計		28単位		
選択科目※	教育学部の専門教育科目から選択	2単位		
卒業研究	卒業研究	6単位		
合計	110単位			

副免の取得についての詳細は「4. 副免及びその他の教員免許の取り方について」以降を必ず参照してください。

(2) 中学校教育専修 <「中学校一種+小学校二種」免許を取得する場合>

コース・サブコース 専修 区分	理数教育コース・理科及び数学サブコース		別欄①科目	
	中学校教育専修		教育の思想 教育の歴史 教育学特殊講義A	2 2 2
	「中学校一種+小学校二種」免許を取得する場合の卒業要件単位数			
科目名	単位数	別欄②科目		
教職専門科目	教職入門	2	教育法規 学校経営・制度論	2 2
	教育概論	2		
	学校安全学と防災教育	2		
	教育・学校心理学	2		
	発達心理学	2		
	特別支援教育	2		
	右記別欄①から1科目選択必修	2		
	右記別欄②から1科目選択必修	2		
	道徳教育の理論と実践	2		
	総合的な学習の時間の理論と実践	2		
	特別活動の理論と方法	2		
	教育課程・教育方法論	2		
	プログラミング基礎 (ICT活用を含む)	2		
	生徒指導・進路指導	2		
	教育相談	2		
	ICTを活用した理数教育	2		
	観察実習(中・高)	1		
	学校体験実習(中・高)	1		
	教育実習研究(中・高)	1		
	教育実習研究(小)	1		
中学校教育実習	4			
小学校教育実習	2			
教職実践演習	2			
小計		44単位	選択科目※について 他学部の科目、国際教育科目、いわて高等教育コンソーシアム単位互換科目及び海外協定大学の科目のうち、本学部の科目として認定できなかった科目を、選択科目として上限単位数まで卒業要件として認定することができます。	
教科専門科目	小学校音楽A	1		
	小学校体育A	1		
	小学校英語	2		
	小学校国語	2		
	小学校社会	2		
	小学校図画工作	2		
	小学校家庭科	2		
	小学校生活科	2		
教科の指導法(小学校)		12		
小計		16単位		
所属専門科目	各科で指定する中学校教科専門科目	28		
	教科の指導法(中学校)	8		
小計		36単位		
選択科目※	教育学部の専門教育科目から選択	8単位		
卒業研究	卒業研究	6単位		
合計	110単位			

副免の取得についての詳細は「4. 副免及びその他の教員免許の取り方について」以降を必ず参照してください。

2. 2. 4 特別支援教育コース

(1) 基礎免として小学校免許を取得する場合

コース	特別支援教育コース		別欄①科目																		
	基礎免として小学校免許を取得する場合の卒業要件単位数		科目名	単位数	教育の思想 教育の歴史 教育学特殊講義A																
区分						別欄②科目															
教職専門科目	教職入門		2	2	2																
	教育概論		2			2	2														
	学校安全学と防災教育		2					2	2												
	教育・学校心理学		2	2	2																
	発達心理学		2			2	2														
	特別支援教育		2					2	2												
	右記別欄①から1科目選択必修		2	2	2																
	右記別欄②から1科目選択必修		2			2	2														
	道徳教育の理論と実践		2					2	2												
	総合的な学習の時間の理論と実践		2	2	2																
	特別活動の理論と方法		2			2	2														
	教育課程・教育方法論		2					2	2												
	プログラミング基礎 (ICT活用を含む)		2	2	2																
	生徒指導・進路指導		2			2	2														
	教育相談		2					2	2												
	観察実習(小)		1	2	2																
	学校体験実習(小)		1			2	2														
	教育実習研究(小)		1					2	2												
	小学校教育実習		4	2	2																
教職実践演習		2	2			2															
小計		39単位					2	2													
教科専門科目	小学校算数			2	5				2												
	小学校理科		2	5		2															
	小学校体育A		1				5	2													
	小学校英語		2							5	2										
	小学校音楽A		1									5	2								
	小学校国語		2											5	2						
	小学校社会		2													5	2				
	小学校図画工作		2															5	2		
	小学校家庭科		2																	5	2
	小学校生活科		2																		
教科の指導法(小学校10教科)		20	5		2																
小計		32単位		5		2															
所属専門科目	特別支援教育に関する科目						26単位	5	2												
選択科目※	教育学部の専門教育科目から選択						5単位			5	2										
卒業研究	卒業研究						6単位					5	2								
合計	108単位													5	2						

基礎免の取得についての詳細は「4. 副免及びその他の教員免許の取り方について」以降を必ず参照してください。

(2) 基礎免として中学校免許を取得する場合

コース 区分	特別支援教育コース		別欄①科目			
	基礎免として中学校免許を取得する場合の卒業要件単位数					
	科目名	単位数				
教職専門科目	教職入門	2	教育の思想 教育の歴史 教育学特殊講義A	2		
	教育概論	2		2		
	学校安全学と防災教育	2		2		
	教育・学校心理学	2	別欄②科目			
	発達心理学	2	教育法規 学校経営・制度論	2		
	特別支援教育	2				
	右記別欄①から1科目選択必修	2	選択科目※について 他学部の科目, 国際教育科目, いわて高等教育コンソーシアム単位互換科目及び海外協定大学の科目のうち, 本学部の科目として認定できなかった科目を, 選択科目として上限単位数まで卒業要件として認定することができます。			
	右記別欄②から1科目選択必修	2				
	道德教育の理論と実践	2				
	総合的な学習の時間の理論と実践	2				
	特別活動の理論と方法	2				
	教育課程・教育方法論	2				
	プログラミング基礎 (ICT活用を含む)	2				
	生徒指導・進路指導	2				
	教育相談	2				
	観察実習 (中・高)	1				
	学校体験実習 (中・高)	1				
教育実習研究 (中・高)	1					
中学校教育実習	4					
教職実践演習	2					
	小 計	39単位				
教科専門科目	各科で指定する中学校教科専門科目	24				
	教科の指導法 (中学校)	8				
	小 計	32単位				
所属専門科目	特別支援教育に関する科目	26単位				
選択科目※	教育学部の専門教育科目から選択	5単位				
卒業研究	卒業研究	6単位				
合計	108単位					

基礎免の取得についての詳細は「4. 副免及びその他の教員免許の取り方について」以降を必ず参照してください。

2. 3 教育実習の受講資格及び卒業研究の着手条件、履修科目登録単位の上限について

I 教育実習の受講資格

(1) 主免教育実習、基礎免教育実習、教育実習研究の受講資格

小学校教育コース，中学校教育コース，理数教育コースの学生が，主免教育実習及び教育実習研究を受講するためには，3年次開始時（又は受講しようとする年度の初め）までに，次の1～3の条件を満たしていることが必要である。

特別支援教育コースの学生が，卒業要件となる基礎免教育実習及び教育実習研究を受講するためには，3年次開始時（又は受講しようとする年度の初め）までに，次の1～3の条件を満たしていることが必要である。

1. 「基礎ゼミナール（教養教育科目）」，「教職入門」，「教育概論」，「生徒指導・進路指導」，「教育相談」，「観察実習」，「学校体験実習」を履修（単位取得）済みであること。
2. 実習する校種ごとに，以下の単位を履修（単位取得）済みであること。
 - ・小学校で実習をする場合は，小学校の教科の指導法から最低6単位を履修済みであること。
 - ・中学校で実習をする場合は，中学校の該当教科の教科指導法から最低2単位を履修済みであること。
3. 次に掲げる単位数以上の単位を取得済みであること。

教養教育科目	18単位
専門教育科目	30単位

(2) 副免教育実習の受講資格

小学校教育コース，中学校教育コース，理数教育コースの学生が，副免教育実習を受講するためには，副免教育実習を受講しようとする年度の初めまでに，次の1と2の条件を満たしていることが必要である。

1. 主免教育実習を履修済みであること。
(ただし，4年次で主免教育実習と副免教育実習を同時に履修する場合に限り，主免教育実習と副免教育実習の同時履修を認めるものとする。)
2. 実習する校種ごとに，以下の単位を履修（単位取得）済みであること。
 - ・小学校で実習をする場合は，小学校の教科の指導法から最低6単位を履修済みであること。
 - ・中学校で実習をする場合は，中学校の該当教科の教科指導法から最低2単位を履修済みであること。
 - ・特別支援学校で実習をする場合は，「特別支援教育概説」を履修済みであること，及び「知的障害者の心理・生理・病理」，「知的障害教育課程論」，「知的障害教育指導法」の3科目から最低4単位を履修済みであること。

(3) 特別支援教育コースの特別支援学校での教育実習の受講資格

特別支援教育コースの学生が，特別支援学校で教育実習を受講するためには，特別支援教育実習を受講しようとする年度の初めまでに，次の1と2の条件を満たしていることが必要である。

1. 卒業要件となる基礎免教育実習を履修済みであること。
(ただし，4年次で基礎免教育実習と特別支援教育実習を同時に履修する場合に限り，基礎免教育実習と特別支援教育実習の同時履修を認めるものとする。)
2. 「特別支援教育概説」を履修（単位取得）済みであること，及び「知的障害者の心理・生理・病理」，「知的障害教育課程論」，「知的障害教育指導法」の3科目から最低4単位を履修済みであること。

(4) 卒業要件となっていない教員免許（その他の免許）取得のための教育実習の受講資格

卒業要件となっていない教員免許（その他の免許）を取得するための教育実習の受講には、教育実習を受講しようとする年度の初めまでに、次の1.と2.の条件を満たしていることが必要である。

1. 主免教育実習（小学校教育コース，中学校教育コース，理数教育コース）あるいは基礎免教育実習（特別支援教育コース）を履修済みであること。
ただし，4年次で主免教育実習（基礎免教育実習）とその他の免許取得のための教育実習を同時に履修する場合に限り，主免教育実習（基礎免教育実習）との同時履修を認めるものとする。
2. 実習する校種ごとに，以下の単位を履修（単位取得）済みであること。
 - ・小学校で実習をする場合は，小学校の教科の指導法から最低6単位を履修済みであること。
 - ・中学校で実習をする場合は，中学校の該当教科の教科指導法から最低2単位を履修済みであること。
 - ・特別支援学校で実習をする場合は，「特別支援教育概説」を履修済みであること，及び「知的障害者の心理・生理・病理」，「知的障害教育課程論」，「知的障害教育指導法」の3科目から最低4単位を履修済みであること。

II 卒業研究の着手条件

(1) 卒業研究の着手条件

学校教育教員養成課程のすべてのコースで，3年次終了時までには，次に掲げる単位数以上の単位を取得済みの場合，4年次4月から卒業研究に着手できる。

教養教育科目	22単位
専門教育科目	75単位

なお，3年次終了時までには上記単位数を取得できなかった場合には，単位数条件を満たした次の学期から卒業研究に着手できる。

(2) 卒業研究期間

卒業研究の研究期間は，少なくとも1年間を要するものとする。

(3) 卒業研究題目の提出

卒業研究に着手した学生は，研究題目を6月20日までに指導教員宛てに提出すること。さらに11月20日までに学部長宛てに提出すること。ただし，10月に卒業研究に着手した学生については，これらの日程をそれぞれ12月20日及び翌年の5月20日と読み替える。

(4) 卒業研究論文の提出

卒業研究をまとめた論文（卒業研究論文）を，指定された日時までに学部長宛てに提出すること。なお，卒業研究論文は卒業制作，卒業演奏等に替えることができる。

III 履修科目登録単位の上限（CAP制）の特例

教育学部学生は，副免取得（特別支援教育コースについては基礎免取得）に関する科目の登録について，1学期24単位を超えて上限を28単位まで履修登録をすることができる。なお，成績優秀者に認定されると，次の学期の履修は，副免取得に関する科目に関わらず28単位まで例外として履修登録をすることができる。

3. 授業科目及び履修年次

<注意事項>標準履修年次について

以降の各ページに記載されている「標準履修年次」とは、あくまで履修が望ましい年次を示しているものであり、その年次以降であれば履修可能である。

例) 標準履修年次で2年前期の欄に○が記されている科目の場合は、2年次だけでなく3年次、4年次でも履修できる。

3. 1 教職専門科目

<一覧表>

教員免許法上の区分		科 目 名	単位数	
教育の基礎的理解に関する科目	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職入門	2	
	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育概論	2	
	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	別欄①	教育の思想 教育の歴史 教育学特殊講義A	2 2 2
		選択	教育学演習A 教育学演習B	1 1
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		学校安全学と防災教育	2
		別欄② 選択	教育法規 学校経営・制度論 いわての復興教育 教育学演習D 教育学演習E 小規模学校教育論	2 2 2 1 1 2
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学 発達心理学 心理学概論 教育心理学演習 発達心理学演習 障害者・障害児心理学	2 2 2 1 1 2
		・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2
	道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践	2
		・総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間の理論と実践	2
・特別活動の指導法		特別活動の理論と方法	2	
・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。） ・教育の方法及び技術			教育課程・教育方法論	2
			教育学特殊講義B	2
・教育の方法及び技術			基礎統計解析の理論と実践 多変量解析の理論と実践 STEAM教育実践演習 教育学演習C 教授行動論 授業実践研究 小学校実践研究	2 2 2 1 2 2 1
		・教育の方法及び技術 ・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	プログラミング基礎（ICT活用を含む）	2
・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導（キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。）の理論及び方法			生徒指導・進路指導	2
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談 臨床心理学概論 心理演習 心理的アセスメント 心理学的支援法	2 2 1 1 1	
教育実践に関する科目	・教育実習	観察実習 学校体験実習 教育実習 教育実習研究	1 1 4 1	
		・教職実践演習	教職実践演習	2

3. 2. (2) 小学校・教科の指導法

科目名	コース・単位数										標準履修年次								免許法上の科目
	小学校教育コース		中学校教育コース		理数教育コース		特別支援教育コース		1年		2年		3年		4年		取得上限単位		
	小一 必修	小一 選択	小二 必修	小二 選択	小一 必修	小一 選択	小二 必修	小二 選択	小一 必修	小一 選択	前	後	前	後	前	後			
国語科教育法(小)	2		2		2		2		2		○	○					2	小(国語)	
社会科教育法(小)	2		2		2		2		2		○	○	○				2	小(社会)	
算数科教育法	2		2		2		2		2		○	○	○	○			2	小(算数)	
理科教育法(小)	2		2		2		2		2		○	○	○	○			2	小(理科)	
生活科教育法	2		2		2		2		2		○	○	○	○			2	小(生活)	
音楽科教育法(小)	2		2		2		2		2		○	○	○	○			2	小(音楽)	
図画工作科教育法	2		2		2		2		2		○	○	○	○			2	小(図画工作)	
家庭科教育法(小)	2		2		2		2		2		○	○	○	○			2	小(家庭)	
体育科教育法(小)	2		2		2		2		2		○	○	○	○			2	小(体育)	
英語科教育法(小)	2		2		2		2		2		○	○	○	○			2	小(英語)	
卒業要件	20		12		20		12		20		12		12				20		
																		20	

(4) 音楽サブコース

区分	科目名	コース・単位数						標準履修年次								備考	
		単位数	小学校教育コース		中学校教育コース		特別支援教育コース		1年		2年		3年		4年		
			必修	選択	必修	選択	必修	選択	前	後	前	後	前	後	前		後
教 科 専 門 科 目	ソルフェージュ A I	1	1*		1*		1*		○								*原則としてAは中学校、Bは小学校・特支コースを対象とする。
	ソルフェージュ B I	1								○							
	ソルフェージュ A II	1			1*		1*		○								*原則としてAは中学校、Bは小学校・特支コースを対象とする。
	ソルフェージュ B II	1									○						
	声楽 I	1	1		1		1		○	○							小学校コースは2年前期、中学校コースは1年前期で履修。
	声楽 II	1		1	1		1		○								
	声楽 III	1		1	1		1			○							
	声楽 IV	1		1	1		1				○						
	合唱	1	1		1		1		○	○		○					
	器楽 A I	1	1		1		1		○	○							小学校コースは2年前期、中学校コースは1年前期で履修
	器楽 A II	1		1	1		1		○								
	器楽 A III	1		1	1		1			○							
	器楽 A IV	1		1	1		1				○						
	器楽 B I	1		1	1		1		○	○							小学校コースは2年前期、中学校コースは1年前期から履修可
	器楽 B II	1		1	1		1		○								
	器楽 B III	1		1	1		1			○							
	器楽 B IV	1		1	1		1				○						
	伴奏法	1	1		1		1		○	○		○					原則として器楽 A I を履修済みの学生を対象とする
	合奏 A	1	1		1		1					○					
	合奏 B	1		1	1		1		○	○		○					
	器楽 C	1	1		1		1		○	○		○					
	器楽 D	1		1	1		1		○	○		○					
	指揮法	1	1		1		1			○		○		○			
	音楽理論 I	2	2		2		2		中 ○	小 ○							小学校コースは1年後期、中学校コースは1年前期で履修
	音楽理論 II	2		2	2		2		○	中 ○	小 ○						小学校コースは2年後期、中学校コースは1年後期で履修
	作曲法 I	2	2		2		2				○		○				
	作曲法 II	2		2	2		2					○		○			
	音楽史 A	2		2	2		2				○		○		○		
	音楽史 B	2	2		2		2				○		○		○		
	声楽演習 I	1		1	1		1						○				
	声楽演習 II	1		1	1		1							○			
	声楽演習 III	1		1	1		1								○		
声楽演習 IV	1		1	1		1									○		
器楽演習 A I	1		1	1		1						○					
器楽演習 A II	1		1	1		1							○				
器楽演習 A III	1		1	1		1								○			
器楽演習 A IV	1		1	1		1									○		
器楽演習 B I	1		1	1		1						○					
器楽演習 B II	1		1	1		1							○				
器楽演習 B III	1		1	1		1								○			
器楽演習 B IV	1		1	1		1									○		
作曲演習 I	1		1	1		1							○				
作曲演習 II	1		1	1		1								○			
作曲演習 III	1		1	1		1									○		
作曲演習 IV	1		1	1		1										○	
音楽科教育学演習 I	1		1	1		1						○					
音楽科教育学演習 II	1		1	1		1							○				
音楽科教育学演習 III	1		1	1		1								○			
音楽科教育学演習 IV	1		1	1		1									○		
卒業要件		14		21	9	13	11										
		14		30		24											

備考 個人指導の科目は、所属学生及び免許取得希望学生以外の選択を認めない。

区分	科目名	コース・単位数						標準履修年次								備考	
		単位数	小学校教育コース		中学校教育コース		特別支援教育コース		1年		2年		3年		4年		
			必修	選択	必修	選択	必修	選択	前	後	前	後	前	後	前		後
教 科 専 門 科 目	小学校音楽 A	1		1		1		1		○	○						
	小学校音楽 B	1		1		1		1		○	○	○	○				
	音楽科教育法(小)	2	2			2		2				○	○				教科の指導法(小学校)
	音楽科教育法 I	2		2		2		2			○						
	音楽科教育法 II	2	2			2		2				○					
	音楽科教育法 III	2		2		2		2						○			教科の指導法(中学校)
音楽科教育法演習 A	1		1		1		1			○							
音楽科教育法演習 B	1		1		1		1				○						
卒業要件		4		8		8											

※免許については、「4. 副免許及びその他の教員免許の取り方について」以降のページから必ず確認すること。

(5) 美術サブコース

区分	科目名	単位数	コース・単位数						標準履修年次								備考
			小学校教育コース		中学校教育コース		特別支援教育コース		1年		2年		3年		4年		
			必修	選択	必修	選択	必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後	
教 科 専 門 科 目	絵画基礎	2	2		2		2		※○	○		○		○		※小学校教育コースの学生は、1年前期には受講不可	
	彫刻基礎	2	2		2		2			○		○		○			
	デザイン基礎	A	2	2		2		2		※○	○		○		○	※小学校教育コースの学生は、1年前期には受講不可	
	工芸基礎	2	2		2		2			○		○		○			
	美術史入門	2	2		2		2			○		○		○			
	造形特別演習(絵画)	A	2		2		2						*○		*○	*は隔年開講	
	造形特別演習(絵画)	B	2		2		2							*○		*は隔年開講	
	造形特別演習(絵画)	C	2		2		2							*○	*○	*は隔年開講	
	造形特別演習(絵画)	D	2		2		2							*○		*は隔年開講	
	造形実習(絵画)	A	1		1		1				○		○		○	3年に一度開講	
	造形実習(絵画)	B	1		1		1					○		○		3年に一度開講	
	造形実習(絵画)	C	1		1		1				○		○		○	3年に一度開講	
	造形実習(絵画)	D	1		1		1					○		○		3年に一度開講	
	造形実習(絵画)	E	1		1		1					○		○		3年に一度開講	
	造形実習(絵画)	F	1		1		1					○		○		3年に一度開講	
	造形特別演習(彫刻)	A	2		2		2						*○		*○	*は隔年開講	
	造形特別演習(彫刻)	B	2		2		2							*○		*は隔年開講	
	造形特別演習(彫刻)	C	2		2		2							*○	*○	*は隔年開講	
	造形特別演習(彫刻)	D	2		2		2							*○		*は隔年開講	
	造形実習(彫刻)	A	1		1		1				○		○		○	3年に一度開講	
	造形実習(彫刻)	B	1		1		1					○		○		3年に一度開講	
	造形実習(彫刻)	C	1		1		1				○		○		○	3年に一度開講	
	造形実習(彫刻)	D	1		1		1					○		○		3年に一度開講	
	造形実習(彫刻)	E	1		1		1				○		○		○	3年に一度開講	
	造形実習(彫刻)	F	1		1		1					○		○		3年に一度開講	
	デザイン基礎	B	2		2		2		2		○		○		○		
	造形特別演習(デザイン)	A	2		2		2		2					*○	*○	*は隔年開講	
	造形特別演習(デザイン)	B	2		2		2		2					*○		*は隔年開講	
	造形特別演習(デザイン)	C	2		2		2		2					*○	*○	*は隔年開講	
	造形特別演習(デザイン)	D	2		2		2		2					*○		*は隔年開講	
	造形実習(デザイン)	A	1		1		1		1			○		○		○	3年に一度開講
	造形実習(デザイン)	B	1		1		1		1				○		○	3年に一度開講	
	造形実習(デザイン)	C	1		1		1		1			○		○		○	3年に一度開講
	造形実習(デザイン)	D	1		1		1		1				○		○	3年に一度開講	
	造形実習(デザイン)	E	1		1		1		1			○		○		○	3年に一度開講
	造形実習(デザイン)	F	1		1		1		1				○		○	3年に一度開講	
	造形特別演習(視覚文化)	A	2		2		2		2					*○	*○	*は隔年開講	
	造形特別演習(視覚文化)	B	2		2		2		2					*○		*は隔年開講	
	造形特別演習(視覚文化)	C	2		2		2		2					*○	*○	*は隔年開講	
	造形特別演習(視覚文化)	D	2		2		2		2					*○		*は隔年開講	
造形実習(視覚文化)	A	1		1		1		1			○		○		○	3年に一度開講	
造形実習(視覚文化)	B	1		1		1		1				○		○	3年に一度開講		
造形実習(視覚文化)	C	1		1		1		1			○		○		○	3年に一度開講	
造形実習(視覚文化)	D	1		1		1		1				○		○	3年に一度開講		
造形実習(視覚文化)	E	1		1		1		1			○		○		○	3年に一度開講	
造形実習(視覚文化)	F	1		1		1		1				○		○	3年に一度開講		
造形特別演習(工芸)	A	2		2		2		2					*○	*○	*は隔年開講		
造形特別演習(工芸)	B	2		2		2		2					*○		*は隔年開講		
造形特別演習(工芸)	C	2		2		2		2					*○	*○	*は隔年開講		
造形特別演習(工芸)	D	2		2		2		2					*○		*は隔年開講		

区分	科目名	コース・単位数						標準履修年次								備考		
		単位数	小学校教育コース		中学校教育コース		特別支援教育コース		1年		2年		3年		4年			
			必修	選択	必修	選択	必修	選択	前	後	前	後	前	後	前		後	
教科専門科目	造形実習（工芸）A	1		1		1		1				○		○		○		3年に一度開講
	造形実習（工芸）B	1		1		1		1				○		○				3年に一度開講
	造形実習（工芸）C	1		1		1		1				○		○		○		3年に一度開講
	造形実習（工芸）D	1		1		1		1				○		○				3年に一度開講
	造形実習（工芸）E	1		1		1		1				○		○		○		3年に一度開講
	造形実習（工芸）F	1		1		1		1				○		○				3年に一度開講
	美術史 I	2		2		2		2				○		○		○		
	美術史 II	2		2		2		2				○		○				
	美術史特別演習 A	2		2		2		2						*○		*○		*は隔年開講
	美術史特別演習 B	2		2		2		2							*○			*は隔年開講
	美術史特別演習 C	2		2		2		2						*○		*○		*は隔年開講
	美術史特別演習 D	2		2		2		2							*○			*は隔年開講
	色彩論特別演習	2		2		2		2					○		○			
	美術科教育特別演習 A	2		2		2		2						*○		*○		*は隔年開講
	美術科教育特別演習 B	2		2		2		2							*○			*は隔年開講
	美術科教育特別演習 C	2		2		2		2						*○		*○		*は隔年開講
美術科教育特別演習 D	2		2		2		2							*○			*は隔年開講	
卒業要件			10	4	10	20	10	14										
			14		30		24											

区分	科目名	コース・単位数						標準履修年次								備考		
		単位数	小学校教育コース		中学校教育コース		特別支援教育コース		1年		2年		3年		4年			
			必修	選択	必修	選択	必修	選択	前	後	前	後	前	後	前		後	
教科専門科目	小学校図画工作	2		2		2		2					○		○			
	図画工作科教育法	2	2			2		2					○		○			教科の指導法（小学校）
	美術科教育法 I	2	2			2		2					○					教科の指導法（中学校）
	美術科教育法 II	2		2		2		2										
	美術科教育法 III	2		2		2		2						○				
美術科教育法 IV	2		2		2		2								○			
卒業要件			4			8		8										

※免許については、「4. 副免及びその他の教員免許の取り方について」以降のページから必ず確認すること。

(7) 教育学サブコース

区分	科目名	単位数	コース・単位数						標準履修年次								備考	免許法上の科目	
			学校教育教員養成課程全学生		小一種+中二種		小一種+特支一種		1年		2年		3年		4年				
			必修	選択	必修	選択	必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後			
教職専門科目	教職入門	2	2															教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	
	教育概論	2	2															教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想教育に関する社会的、制度的又は経営的事項教職の意義及び教員の役割・職務内容のうち、「(チーム学校運営への対応を含む。)」を含む。	
	教育の思想	2		2		2			○									*	
	教育の歴史	2		2		2			○									*	
	教育学特殊講義A	2		2		2					←	○	→					**	
	教育学演習A	1		3		3					←	○	→					***	
	教育学演習B	1		3		3					←	○	→					***	
	教育法規	2		2		2						○						*	
	学校経営・制度論	2		2		2								○				*	
	教育学演習D	1		3		3					←	○	→					***	
	教育学演習E	1		3		3					←	○	→					***	
	教育課程・教育方法論	2	2									○							教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)教育の方法及び技術
	教育学特殊講義B	2		2		2												**	
	道徳教育の理論と実践	2	2								○	○							道徳の理論及び指導法
	総合的な学習の時間の理論と実践	2	2										○						総合的な探究の時間の指導法
	特別活動の理論と方法	2	2								○	○							特別活動の指導法
	教育学演習C	1		3		3					←	○	→					***	
教授行動論	2		2		2								○					教育の方法及び技術	
授業実践研究	2		2		2				○										
教科専門科目	生活科教育法	2	小 2	中 2							○		○						教科の指導法(小学校)
	小学校生活科	2		2							○	○							教科に関する専門的事項(小学校・生活科)
卒業要件						10		6											

備考 * 学校教育教員養成課程全体の卒業要件科目(別欄①②の選択必修2科目)とは別に2単位以上選択必修。

** 学校教育教員養成課程全体の卒業要件科目(別欄①の選択必修1科目)とは別に2単位以上選択必修。

*** 教育学演習A~Eから2種類以上、計2単位以上選択必修とする(「3」は上限単位数)。

標準履修年次中の「← →」は、その期間のいずれかに開講するもので、毎年、前・後期に必ず開講されるものではないことを示している。

上記の科目のうち、学校教育教員養成課程全学生が必修の科目及び生活科教育法、小学校生活科の単位は、教育学サブコースの卒業要件10単位または6単位に使用できないので注意すること。

※免許については、「4. 副免許及びその他の教員免許の取り方について」以降のページから必ず確認すること。

(8) 心理学サブコース

区分	科目名	コース・単位数						標準履修年次								備考	免許法上の科目			
		単位数	学校教育教員養成課程全学生		小一種+中二種		小一種+特支一種		1年		2年		3年		4年					
			必修	選択	必修	選択	必修	選択	前	後	前	後	前	後	前			後		
教 職 専 門 科 目	教育・学校心理学	2	2							○								公心	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	
	発達心理学	2	2								○							公心		
	心理学概論	2		2		2			○									公心		
	教育心理学演習	1		1		1					○									
	発達心理学演習	1		1		1					○									
	障害者・障害児心理学	2		2		2			○									公心		
	知覚・認知心理学	2		2		2				○								公心・隔年		
	心理学統計法	2		2		2			○									公心		
	心理学研究法	2		2		2				○								公心		
	心理学実験	1		1		1				○								公心		
	心理実習Ⅰ	1		1		1						○						公心		
	心理実習Ⅱ	1		1		1							○					公心 備考※参照		
	心理実習Ⅲ	1		1		1							○					備考※参照		
	学習・言語心理学	1		1		1					○							公心・隔年		
	感情・人格心理学	1		1		1					○							公心		
	神経・生理心理学	1		1		1					○							公心		
	健康・医療心理学	1		1		1				○								公心		
	人体の構造と機能及び疾病	1		1		1			○									公心		
	精神疾患とその治療	1		1		1				○								公心		
	司法・犯罪心理学	1		1		1			○									公心・隔年		
	福祉心理学	1		1		1			○									公心・隔年		
	社会・集団・家族心理学	1		1		1			○									公心・隔年		
	産業・組織心理学	1		1		1			○									公心・隔年		
	公認心理師の職責	1		1		1						○						公心		
	関係行政論	1		1		1						○						公心		
	生徒指導・進路指導	2	2						○											生徒指導の理論及び方法 進路指導（キャリア教育に関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法
	教育相談	2	2							小○	○								脚注参照	
	臨床心理学概論	2		2		2				○									公心	
心理演習	1		1		1				○									公心・隔年		
心理的アセスメント	1		1		1					○								公心		
心理学的支援法	1		1		1					○								公心		
卒業要件				8	2	6														
				10		6														

備考 教育相談：履修対象学生を、前期は小学校教育コース、後期は中学校教育コース及び理数教育コース、特別支援教育コースとすることを示す。

「公心」は公認心理師受験資格の必修科目、「集中」は集中講義、「隔年」は隔年開講を示す。

※公認心理師受験資格の取得を希望する場合は必ず心理実習Ⅱを選択すること。公認心理師資格を希望しない場合は心理実習Ⅲを選択すること。

上記の科目のうち、学校教育教員養成課程全学生が必修の科目の単位数は、心理学サブコースの卒業要件10単位または6単位に使用できないので注意すること。

※免許については、「4. 副免許及びその他の教員免許の取り方について」以降のページから必ず確認すること。

(9) 情報教育学サブコース

区分	科目名	コース・単位数						標準履修年次								備考	免許法上の科目	
		単位数	学校教育教員養成課程全学生		小一種+中二種		小一種+特支一種		1年		2年		3年		4年			
			必修	選択	必修	選択	必修	選択	前	後	前	後	前	後	前			後
教職 専門 科目	プログラミング基礎 (ICT活用を含む)	2	2						○									教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法
	基礎統計解析の理論と実践	2	2	2		2					○		○					教育の方法及び技術
	多変量解析の理論と実践	2	2		2		2						○				備考1)	
	STEAM教育実践演習	2	2	2		2									○		備考2)	
教科 専門	教育情報システム演習	2	2	2		2				○		○		○			備考3)	教科に関する専門的事項 (技術)
	情報社会と倫理	2	2	2			2			○		○		○			備考4)	
	統計的機械学習実践	2	2	2			2					○		○			備考5)	
卒業要件				10		6												
				10		6												

備考1 原則「基礎統計解析の理論と実践」の単位取得してから履修すること。全員履修することが望ましい。

備考2 通年にて2単位の科目であるが、後期については一部集中的に講義を開講する。実施日については4月のオリエンテーションで確認して日程調整すること。

備考3 ICT活用教育を含む。

備考4 情報モラル教育を含む。

備考5 プログラミングを含む。

注1 中学校教諭二種免許状を取得する学生は、表中選択扱いになっている「多変量解析の理論と実践」も卒業要件の「選択科目」として履修することが望ましい。

注2 特別支援学校教諭の免許状を取得する学生は、表中選択扱いになっている3科目も卒業要件の「選択科目」等として履修することが望ましい。

※免許については、「4. 副免及びその他の教員免許の取り方について」以降のページから必ず確認すること。

(10) 特別支援教育サブコース（小学校教育コース）

区分	科目名	単位数				標準履修年次								備考	免許法上の科目					
		小一種+中二種		小一種+特支一種		1年		2年		3年		4年			特別支援学校教諭					
		必修	選択	必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後							
所属 専 門 科 目	特別支援教育概説	2		2			○		○								特別支援教育の基礎理論に関する科目			
	知的障害者の心理・生理・病理	2		2				○		○							心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	(中心となる領域)		
	特別支援心理検査法	2			2				○		○							知的障害者		
	肢体不自由者の心理・生理・病理	2		2						○		○						肢体不自由者		
	病弱者の心理・生理・病理	2		2					○		○							病弱者		
	知的障害教育課程論	2		2					○		○							知的障害者		
	知的障害教育指導法	2		2						○		○						知的障害者		
	特別支援教育指導法	2		2					○		○							知的障害者		
	知的障害教育授業論	2			2					○		○						知的障害者		
	肢体不自由教育課程・指導法	2		2						○		○							肢体不自由者	
	病弱教育課程・指導法	2		2							○		○						病弱者	
	特別支援教育実践論	2			2						○				原則、集中講義			・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的障害者	
	視覚障害教育総論	1		1							○		○					免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	視覚障害者	
	聴覚障害教育総論	1		1							○		○					・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	聴覚障害者	
	言語障害教育総論	1		1								○	○		原則、集中講義			・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	重複・LD等領域（言語）	
	重複障害教育総論	1		1								○	○					・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	重複・LD等領域（重複）	
	発達障害総論	1		1									○	○					・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	重複・LD等領域（情緒・LD・ADHD）
	発達障害教育指導法	2			2							○		○						重複・LD等領域（情緒・LD・ADHD）
	特別支援教育実習	2			2									○					心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	
特別支援教育実習研究	1			1																
卒業要件		10		26	6															
		10		32																
		小一種+中二種		小一種+特支一種																

区分	科目名	単位数	学校教育教員養成課程全学生		標準履修年次								備考	免許法上の科目						
			学校教員養成課程全学生		1年		2年		3年		4年									
			必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後								
教職	特別支援教育	2	2										○		○			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		

※免許については、「4. 副免許及びその他の教員免許の取り方について」以降のページから必ず確認すること。

(2) 数学サブコース

区分	科目名	単位数	コース・専修・単位数						標準履修年次								備考			
			理数教育コース 小学校教育専修		理数教育コース 中学校教育専修		特別支援 教育コース		1年		2年		3年		4年					
			必修	選択	必修	選択	必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後				
教科 専門 科目	代 数 学 I	2	2		2		2		○											
	代 数 学 II	2	2		2		2			○										
	代 数 学 III	2		2		2		2			○									
	代 数 学 IV	2		2		2		2				○								
	幾 何 学 I	2	2		2		2		○											
	幾 何 学 II	2	2		2		2			○										
	幾 何 学 III	2		2		2		2			○									
	幾 何 学 IV	2		2		2		2				○								
	解 析 学 I	2	2		2		2		○											
	解 析 学 II	2	2		2		2			○										
	解 析 学 III	2		2		2		2			○									
	解 析 学 IV	2		2		2		2				○								
	確 率 論 入 門	2	2		2		2					○								
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門	2	2		2		2				○									
	代 数 学 各 論	2		2	※2	8		2						←	○	→				
	幾 何 学 各 論	2		2				2							←	○	→			
	解 析 学 各 論	2		2				2								←	○	→		
	応 用 数 学	2		2				2								←	○	→		
	数 学 教 育	2		2				2						←	○	→				
代 数 学 特 別 講 義	4		4	4														○		
幾 何 学 特 別 講 義	4		4																○	
解 析 学 特 別 講 義	4		4																○	
数 学 教 育 特 別 講 義	4		4																○	
卒 業 要 件		16	4	22	6	16	8													
		20		28		24														

※小学校教育専修所属者は備考3を参照。

区分	科目名	単位数	コース・専修・単位数						標準履修年次								備考		
			理数教育コース 小学校教育専修		理数教育コース 中学校教育専修		特別支援 教育コース		1年		2年		3年		4年				
			必修	選択	必修	選択	必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後			
教職	I C T を 活 用 し た 理 数 教 育	2	2		2									○					大学が独自に設定する科目：小学校，中学校（理科・数学），高等学校（理科・数学）に使用できる免許科目
教科 専門 科目	小 学 校 算 数	2		2	2		2			○	○	○	○	○	○				教科の指導法（小学校）
	算 数 科 教 育 法	2	2		2		2			○	○	○	○	○					
	数 学 科 教 育 法 I	2	2		2		2			○									
	数 学 科 教 育 法 II	2	2		2		2				○								
	数 学 科 教 育 法 III	2	2		2		2					○							
数 学 科 教 育 法 IV	2	2		2		2						○							
卒 業 要 件		12		10		8													

備考 1 ここに示された順序に従って履修すること。標準履修年次中の「← →」はその期間のいずれかに開講することを示している。

2 所属学生は、卒業研究のため代数学，幾何学，解析学，数学教育の各特別講義の一つを選択すること。

3 代数学，幾何学，解析学それぞれのⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳのうち2単位を小学校教科専門科目「小学校算数」に振り替えることができる。

4 数学教育及び数学教育特別講義は、免許取得に必要とされる「教科専門科目（教科に関する専門的事項）」の科目（20単位）には属さないため履修には留意されたい。（IV-63ページ参照）

※免許については、「4. 副免許及びその他の教員免許の取り方について」以降のページから必ず確認すること。

3. 5 特別支援教育コースの開講科目

区分	科目名	単位数		標準履修年次								備考	免許法上の科目				
		単位数	小学校基礎免許 中学校基礎免許		1年		2年		3年		4年		特別支援学校教諭				
			必修	選択	前	後	前	後	前	後	前		後				
所属 専門 科目	特別支援教育概説	2	2			○		○							特別支援教育の基礎理論に関する科目		
	知的障害者の心理・生理・病理	2	2					○		○					特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	(中心となる領域)
	特別支援心理検査法	2		2				○		○				知的障害者			
	肢体不自由者の心理・生理・病理	2	2					○		○				知的障害者			
	病弱者の心理・生理・病理	2	2					○		○				知的障害者			
	知的障害教育課程論	2	2					○		○				知的障害者			
	知的障害教育指導法	2	2					○		○				知的障害者			
	特別支援教育指導法	2	2					○		○				知的障害者			
	知的障害教育授業論	2		2				○		○				知的障害者			
	肢体不自由教育課程・指導法	2	2					○		○				肢体不自由者			
	病弱教育課程・指導法	2	2					○		○				病弱者			
	特別支援教育実践論	2		2	○									原則、集中講義			知的障害者
	視覚障害教育総論	1	1							○		○			免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	視覚障害者
	聴覚障害教育総論	1	1						○		○			原則、集中講義			聴覚障害者
	言語障害教育総論	1	1							○		○		重複・LD等領域(言語)			
	重複障害教育総論	1	1							○		○		重複・LD等領域(重複)			
	発達障害総論	1	1							○		○		重複・LD等領域(情緒・LD・ADHD)			
	発達障害教育指導法	2		2						○		○		重複・LD等領域(情緒・LD・ADHD)			
特別支援教育実習	2	2									○			心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習			
特別支援教育実習研究	1	1									○						
卒業要件		26															
			26														

区分	科目名	単位数	学校教育教員養成課程全学生	標準履修年次								備考	免許法上の科目	
				1年		2年		3年		4年				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
教職	特別支援教育	2	2			○		○						特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解

備考 基礎免許として中学校を選択する場合、履修状況や卒業要件単位数などを確認する際は、「3. 3 小学校教育コースあるいは中学校教育コースの開講科目」又は「3. 4 理数教育コースの開講科目」にある各教科の「特別支援教育コース」欄を見ること。

※免許については、「4. 副免許及びその他の教員免許の取り方について」以降のページから必ず確認すること。